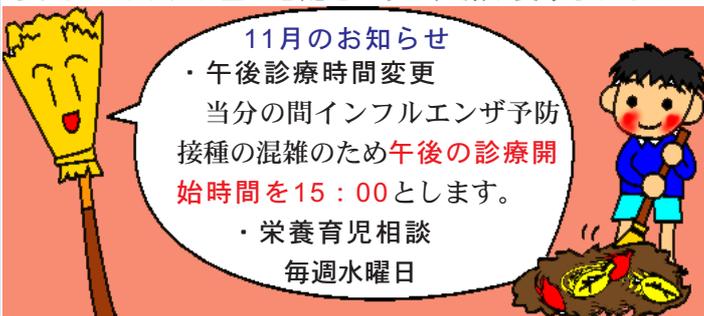


## 乳幼児医療費助成ピンチ?! 院長

身近な乳幼児医療費助成制度についてはよく知っていると思いますが、この助成制度が縮小されようとしていることを御存知ですか。医療費助成制度は各都道府県の事業で、宮城県と居住する市町村が半分ずつ費用を負担しています。市町村では、県の制度に独自の制度を加える形で運用されています。つまり、国の事業ではないため各県毎に内容は異なり、県内でも市町村によっても助成の対象などが違ってきます。現在の宮城県の制度は、入院は就学前まで、通院は2才までとなっていて、所得制限があります。昨年10月からは、現物給付方式を導入し、窓口での支払いの必要が無くなりました。一時の負担といえども窓口での支払いをしなくて済むようになったことは、多くの皆さんから歓迎されているはずです。この手厚くなったように思えた制度が、今後縮小されようとしているのです。

宮城県では財政が危機的状況にあるため、新・財政再建推進プログラムを策定し再建が進められています。聖域なき歳出の見直しの対象として、乳幼児医療費助成事業も含まれ縮小(一部自己負担の導入)の予定となっています。県の制度が一部自己負担金導入へと後退すれば、市町村の負担が増えて助成がより縮小することになるかも知れません。2005年の国勢調査では、人口は合計特殊出生率1.25の低下を受けて前年に比べて約22,000人減少しました。また65歳以上の老年人口は20.1%で調査以来最高になり、15才未満の年少人口は13.7%と最低となりました。今の状況では総人口が減少することにより高齢化率は上昇を続け、2050年には35.7%に達し、国民の約3人に1人が65歳以上の高齢者という極めて高齢化の進んだ社会になると考えられています。高齢者が増加するということは、支えるための世代の負担が多くなる訳です。

このような子育て支援策は、全国的には少子化対策の一環として、多くの自治体では逆に手厚くなる方向に進んでいます。もちろん子育て支援は乳幼児医療費助成だけではありませんが、お金の心配をせずに医療が受けられるとい



11月のお知らせ

- ・午後診療時間変更
- 当分の間インフルエンザ予防接種の混雑のため**午後の診療開始時間を15:00**とします。
- ・栄養育児相談
- 毎週水曜日

うこともとても重要なことです。また医療は別の観点からも考えなければなりません。万が一医療費の負担増加で、適切な医療が受けられない、受診が遅れてしまうことも起りうることでしょう。そのような状況の中で、将来を支える子どもたちに万が一のことがあれば、経済的損失は大変なことです。その損失は、医療費助成を削減するどころではないはずです。東京都では乳幼児医療費助成制度の対象は通院入院とも就学前までで、少子化が著しい23区では所得制限が無いだけではなく、15才まで対象年齢が拡大されている区もあります。東京の特殊合計出生率0.98に対して宮城県1.19ですが、全国的には下から9番目でかなり低い方です。低いからこそ、対策が必要なことは言うまでもありません。9月の定例県議会で石橋議員(公明党)が乳幼児医療費助成問題について質問し、知事は「(略)乳幼児医療費助成制度については、他県の状況や市町村の動向なども参考にしながら、この制度の意義を踏まえ、財政状況も考慮し、その枠組みがどうあるべきかを慎重に検討しているところであり、(略)いずれにいたしましても、乳幼児医療費の助成制度の見直しにつきましても、大変難しい問題であり、もう少し市町村はじめ関係機関、関係団体の御意見も伺いながら、慎重に検討し判断してまいりたいと考えております。」と答弁しています。



確かに宮城県の財政は大変な状況です。聖域なき歳出の見直しも仕方ないかもしれませんが、しかし、子どもたちは県ひいては国の活力のための大きな力であり宝です。将来国を支えていく子どもたちのためにも、安心して産み育てることができる環境の確立が絶対に必要です。若い世代の親御さんは、政治ということに無頓着かもしれません。どうせ何を言っても変わらないと思っているかもしれません。国も県もお年寄りには多くの援助をしていますが、子育てのための援助は十分ではありません。でも医療費助成制度の縮小は、今日の前にある問題なのです。知らなかったからといって、来年から窓口の負担が始まってからでは手遅れです。こんな時こそ、声を大にして乳幼児医療費助成の縮小に反対しましょう。そして我々小児科医も、医療費助成の縮小に反対する活動を展開します。親御さん達とともに、医療費助成制度を守ろうではありませんか。是非、皆さんも協力してください。

## 読者の広場

先月は18通のメールを頂きました。まずは、宮城野区の森さんからのメールです。「大変、ご無沙汰しております。愛加も、小学校に入学して半年が過ぎ、最近は何回かクリニックに伺う機会がありません。3~4年前には毎月、必ず一度はお世話になり正しく『かかりつけ』のクリニックでした…って、今もその気持ちに変わりはありませんよ！！でも、子供の成長って早いんだと、実感する今日この頃です…先生には、心配性の母親の私を理解してくださった上での、アドバイスや処方をしていただいたこと、今でもとても感謝しております。そして、看護師の皆様にも…最近、直接クリニックで院内報を頂くチャンスが無いのでインターネットで度々、拝見させて頂いております。それで、今回の学会の発表の様子を載せていらした記事を拝見させて頂いたところ、スタッフ全員とのコメントになぜか、違和感を感じ…ん！？と思い、よく見たら中米婦長さんのお姿が…茂木さんも…茂木さんについては、去年、伺ったときにすでに、お見かけしてなかったような…そのときは、お休みされてるのかな…くらいに思っていたのですが…お二人とも、退職されたのですか？だとしたら、とても残念です。もちろん先生に一番お世話になっているのですが、看護婦さんたちには、精神的なケアをととても丁寧にいただいたのが今でも印象深く、ついついどんな病院に行っても（お見舞いなどに行っても）比べてしまい、他の看護婦さんたちに対して、物足りなさを感じてしまうことがしばしばです。（クリニック現役の佐藤さんに対しても、同じ感謝の気持ちでいますよ！）きっと先生の下で、クリニックの理念を理解した上で働いている看護婦さんたちは、きっと、次世代の中米婦長さん達になるのでしょうね！久しぶりにメールをしたのに、勝手な物言いで申し訳ありません。お許しください。ではまた、来月ごろにインフルエンザの予防接種に伺いますので、よろしくをお願いします！」。ありがとうございます。病院ですから受診の必要が無くなったことは本当によいことです。来院する機会が無くなってホームページを見てもらうだけでありがたいのに、クリニックのスタッフのことまで心配頂いてありがとうございます。本当に嬉しいメールです。お母さんのクリニックに寄せる思いが、ひひひと伝わってきます。大丈夫、中米婦長はバリバリ働いてますよ。もうひとつ、青葉区の阿部さんからのメールです。「こんばんは、阿部 凌久、朱莉の母です。今日はお世話様でした。なんだか周りがるさくて「そんなに薬ばかり飲ませて大丈夫？」だと「たいしたことないのに鼻水位では病院いかななくても大丈夫だよ」と言われるので自身なくしちゃいました。私自身少し様子がおかしいと感じたらすぐに病院に行くタイプなので子供にもそうしています。悪化して大変になるよりはいいと思っています。確かに仕事が休み度に病院にいつていますが・（一；）なので今日は「こんなに病院にばかりきていいんでしょうか」と聞いてしまいました。仕事が管理職で休みも不定休なので今日は出張帰りの疲れが顔にでていたのが看護師さんに「お母さん、タベ眠れなかった？」といったわりの言葉をかけていただき大変嬉しい気持ちになりました。ありがとうございます。また休みになったらお伺いいたします。」。育児においては、お母さん（お父さんも）安心することが大事なことです。病院に来ないで心配しているより、連れてきて安心する方が、お子さんにとっても良いことだと思いますよ。大きな声では言いませんが、遠慮なくどうぞ。



### みやぎこども病院支援コンサート2006

西江辰郎・有森博デュオコンサート  
11月21日(火) 19:00 (18:30開場)  
太白区文化センター(楽楽楽ホール)  
入場料 大人3000円 高校生以下2000円  
支援コンサートは、今回が最後になります。チケット希望の方は受付まで。但、未就学時は入場できません。



### お母さんクラブの御案内

インフルエンザちょっと怖い病気！？ 院長  
11月16日(木) 14:00~ 福沢市民センター  
インフルエンザには重症な合併症があり、普通のカゼと区別して考える必要があります。対処法は子どもの病気に全てに共通し、初めての方にも役立つこと請け合いです。今回は、会員以外の参加も可能です。希望の方は、受付まで。

**予防接種** インフルエンザワクチンの接種がはじまりました。13歳以上は原則1回、13歳未満は2回接種です。  
**お知らせ** 料金(1回) 3150円(消費税込)

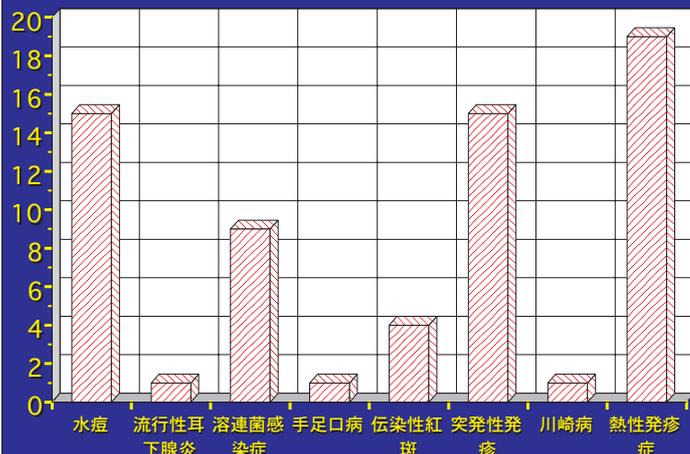
一度減少した水痘が再び増加傾向です。おたふくは一人だけでしたが全国的には流行しているようで、中部日本放送(CBC)の取材を受けました(8日に放送予定)。溶連菌感染症も、増加傾向です。伝染性紅斑は相変わらず横ばいです。

#### 編集後記

先月、今月と名古屋CBCで解説が流れます。皆さんの知らない所で活躍していることも知って下さい。そろそろクリニックが混雑する時期になってきました。電子カルテの導入が効果あり？。それでも御迷惑をお掛けすることもあるので、よろしくお願いします。



### 10月の感染症の集計



院長著書「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん子どもの病気」の再版にご協力を。お陰様で再版の方向に！ 詳しくは かわむらこどもクリニックHP(<http://www.kodomo-clinic.or.jp>)を